

# 令和3年度第2回大阪府立少年自然の家指定管理者評価委員会

## 議事録

- 日 時：令和4年1月20日（木） 10：00～11：30
- 場 所：エル・おおさか 本館5階 研修室1
- 委員出席：4人（有田委員、河野委員、佐井委員、蓬田委員） 欠席：1人（小山委員）

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

- ◆ 大阪府立少年自然の家 令和3年度指定管理者の業務状況の評価について  
事務局より「資料4 令和3年度指定管理運営業務評価票」の説明

#### <質疑応答>

委員：新型コロナウイルスの対策をされていたかと思うが、クラスターが発生したり、感染の事案はあったか。

事務局：府立少年自然の家の利用者が新型コロナウイルスに感染したということはない。

委員：感染がなかったということであれば、感染症対策がしっかりと講じられていたということで評価できると思う。

もう1点、昨年度利用できなくて、今年度利用した学校団体が多かったと思うが、学校の先生方からいろいろと意見が出たと思う。

どういった意見があったか、お聞きしたい。

事務局：昨年度利用できなくて、今年度利用した学校団体は、子どもが1年以上、自然体験活動を行えておらず、学校の先生方は体験活動をさせてあげたいという思いが強かったと聞いている。

指定管理者：今、事務局が話したとおり、利用された学校については、最初は緊張されながらも、利用されて帰られる時には、子どもたちの笑顔を見て、やっぱり実施してよかったという意見を聞いている。内容については、宿泊から日帰りに変更されたり、炊飯をしないという学校団体もあった。利用された学校は、大変満足されている様子だった。

委員：コロナ禍で、なかなか体験活動ができない中で、それを逆手にとって、実際に体験活動ができた子どもたちの様子を学校の先生から意見を拾い上げて、「やはり体験活動は重要である」「大阪府としても子どもたちにとって体験活動は重要だ」ということを様々なところにアピールしていただきたい。

もう1点、こういった施設は職員が負担になる可能性が高いかと思う。特に今年度の10月11月と利用者が多い中で、イベントをするということがあると忙しかったのではないかと思う。

職員の勤務管理など、どのように工夫されていたのかお聞きしたい。

指定管理者：今年度当初の予想では10月、11月にそこまで利用が増えるという想定はしておらず、ギリギリになり、たくさん予約が入ってきたり、当初は1回実施の予定であった事業を希望者が増えたことにより2回実施にしたり、とても忙しかった。そういった時期に人を急に増やすということではできないので、関連の施設に応援を要請し、そ

の時期だけ手伝いに来てもらい対応した。

委員：私もこういった施設で勤務した経験があり、繁忙期にはどうしても長時間労働などになりがちだが、そうすると利用者への安全管理とかがおろそかになってしまう可能性がある。

繁忙期は仕方がない部分もあるが、閑散期には、少し余裕を持った勤務割などで、今言われている働き方改革を行っていただき、「すごく楽しい職場」「充実した職場」ということをアピールしていただけたら、良い人材、若い人材の確保につながると思う。大変だと思うが、十分気を付けて運営していただければと思う。

委員長：さきほど、お風呂の改修を予定していると説明があったが、建物自体が相当古く、老朽化してくると水回りに不安を感じる。利用者のアンケートを見ていると、お手洗いへの要望も多い。昔のトイレは、和式だったり狭かったりということがあり、利用者が嫌がるということもあるが、和式トイレの改修は行っているのか。

事務局：和式トイレを洋式トイレに改修するには、改修費用がとても高額になることから、現在、大阪府と指定管理者とで、調整をしながら予算どりを進めているところ。

現在、洋式トイレは、各トイレ箇所ごとに1基ずつ設置されている。

委員長：今の子どもたちは、和式トイレの経験がない子どもも多い。また、和式トイレは、蓋もないので、感染症対策の観点でもリスクが高まると感じる。そういったところも含めて、トイレ改修の予算どりを進めてほしい。

評価票を見ていると、Bの評価はあるが、Sの評価がない。どうすればSの評価をつけることができるかを考えた時に、コロナ禍ということも含めて、当初の予定計画になかったがトイレやお風呂の改修など衛生面に関して取組を行えばSがついたと思う。

委員：トイレの件についてだが、昨日私が参加した一般の企業の取締役会でも同じ話が出ていた。その中で、若い人からトイレが和式なことはいえなれないという意見があった。最新式のものでなくてもいいと思うので、和式をすべて洋式にする必要があると思う。

事務局：大阪府立の学校については、平成29年あたりからトイレの洋式化を行っている。

ただ府立学校についても現在、1校あたり1系統ずつとなっているので、和式をすべて洋式化するというのは難しいのが現状。

ただ、委員ご指摘のとおり、利用者からも毎年要望が上がっているため、予算の範囲内で、少しずつ洋式にできればと考えている。

委員長：文部科学省の補助金はないのか。

事務局：学校については、補助金の対象となるが、社会教育施設は対象外となっている。

実施する場合は、大阪府もしくは指定管理者で予算を確保して、改修することになる。次年度についてもトイレの洋式化の予算を要求しているが、さきほどもお伝えしたとおり、施設自体が老朽化しているため、突発的に起こる水道管が詰まるなど施設運営に支障が出る優先度が高い工事から進めているのが現状。

委員長：トイレだけではなく、建物が古いので、耐震化とか水回りとか大阪府として将来的な見通しを立てて、計画的に工事を行っていく必要があるのではないかと。

そこは、指定管理者では無理な部分だと思う。

事務局：大阪府は、「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」を策定し、府有施設に対して、施設の長寿命化を図るために、調査を行い、優先順位を決めて、計画的に工事を進めている。

少年自然の家についても、今年度、これまで専用水道だったものを貝塚市の市水道に

切替える工事や、排煙窓の改修工事など、4つの大規模な工事を実施している。

委員長：新規の利用者を増やしていくということであれば、施設の安全面はもちろんだが、利用する側とすれば、施設の見栄え等についても気になる部分だと思う。施設の改修は、指定管理者の努力だけでは難しいところがある。

委員：トイレの話だが、今、漠然とした話になっていて、施設のどこの部分が和式で、どこの部分が洋式か、利用者のニーズが高い箇所はどこなのかなど、優先順位等をつけてどこから改修していくかなどの計画はしているのか。

事務局：指定管理者と調整を行い、最終的にすべてのトイレを改修するために費用がいくらかかるか、業者に見積を依頼し、把握している。

利用者のニーズが高い所ということであれば、屋外の野外炊飯場近くのトイレとなるが、和式と洋式では、1つのブースのスペースが異なり、例えば和式が6か所であれば、洋式に改修すると5か所にするなど大規模な工事になり、費用も高くなる。

利用者のニーズと費用面を考慮し、優先順位をつけて、工事を少しずつ行っていく。

委員：評価票で、「管理運営業務全体として職員体制は適切か」や「事業実施に必要な人員数の確保は適切か」という項目があるが、少年自然の家は、専門的な知識や技能が必要だと思う。コロナ禍で一般企業などでは、退職される方もおり、一度やめられてしまうと、呼び戻すことは大変難しい。

そういう意味でも、良い人材を継続的に雇用することが重要になってくる。

また、こういう施設は、ケガをしたりすることがあり得ると思うが、イベント実施の際などは、保険に入っているか。

指定管理者：イベントの際は、すべての参加者が保険に加入いただいている。また、ボランティアリーダーとして活動しているスタッフについては、本部で一括して保険に入っている。スタッフについては、本部で経験年数に応じて、どのような資格をいつ取得してもらうかなど、計画的に育成している。特に今回コロナで利用者がいない時期があったので、そういった時間を有効に活用し、教育訓練ということで、キャンプインストラクターであるとか、社会教育主事などたくさんの研修に参加してもらった。これについては、今後も継続的に行っていく。

委員：新型コロナウイルス感染症の影響で、業績が芳しくないということは致し方ないことだと感じるし、次年度以降もどうなるかわからないところだが、新型コロナウイルス感染症が収まってきた時に、利用者に戻ってきてもらうことが大切。

そのために、広告宣伝活動をされていると思うが、SNSやYouTubeを始めたということは良いと思う。今、手元に紙のチラシを置いてもらっているが、印刷したり、郵送したりするのに、費用がかかるのではないかな。

指定管理者：件数も多いので印刷については、月に3~4万円かかっている。発送については、公共施設に対して、大阪府から発送してもらっており、リピーターに対してはDMで発送している。広報についてはできるだけお金のかからない方法を考えている。

委員：利用者アンケートを見ていると、「以前利用」の割合が多いので、DMの効果があると思うが、広告宣伝でいうと圧倒的に、ホームページであったり、SNSを活用する方が効果が高いと思う。

指定管理者：イベントの参加人数の割には、大阪府の広報の担当課からは、SNSのフォロワー数が少ないという指摘も受けている。

委員：SNSの発信を施設職員がするのではなく、専門業者に依頼することで、どういう発信

の仕方が有効なのか、また、検索エンジンでキーワードを入れた時に、上に表示されるための方法などもアドバイスしてもらえるので、そういったところに費用をかけることも一つではないか。

指定管理者：宣伝費について、そういったところに予算をかけることも検討する。

委員：イベントを見ているととても楽しそうなものが多いので、うまく発信してもらえれば。

委員長：大阪府立ということだが、やはり南側の地域がターゲット層になるのか。

指定管理者：学校団体は、大阪市内の学校など遠方からの利用も多い。イベントの参加については、やはり近隣の市町村から来られる方が多い。

委員長：こういうチラシ類は、市役所とか公共機関に置いているのか。

指定管理者：図書館や教育センターなどには、配架してもらっている。

委員長：そういったところでチラシは、毎回捌けるのか。

指定管理者：イベントの参加者は、チラシを見たという方が結構いるので、チラシの効果はあると感じている。

委員：図書館もいいと思うが、スポーツ施設はどうか。

指定管理者：体育館にもおいていただいている。

委員：プール施設とかスケート場とかもあると思うので、そういったところを利用されている方は、アウトドアにも興味があるので、効果があると思う。

委員：施設ということだが、来てもらうばかりではないと思う。

例えば、学校団体で、コロナ禍なので行くことはできないが、学校に半日、指導者を出してほしいというような、いわゆる出前で来てほしいというような要望はあるか。

指定管理者：コロナ禍で、実施件数は減っているが、「おおさか元気広場」で出前講座を年数回、実施している。あとは、学校団体ではないが、地域で子どもたちを指導しているサークルから、危機管理について講座をしてほしいなどの要望があり、出前講座をしたこともある。

委員：新型コロナウイルス感染症の影響で、校外学習を縮小するであったり、宿泊から日帰りに変更したり、バスでの移動を自粛している学校は多いと思う。そういった中で、学校のニーズがあるようなら、来てもらうだけではなく、大阪府の体験活動の推進、貢献ということで出前講座を充実していただければと思う。

兵庫県では、自然学校で4泊5日で宿泊活動を行っているが、今は宿泊ができないので、学校で日帰りで体験活動を行い、そこに南但馬自然学校などの職員が出向く事例があるので、学校のニーズにはよると思うが、来てもらうだけではなく出向くことも検討していただければ。

委員：質問だが、つけていただいているチラシに、企業との協賛と書いているものがあるが、これはどういった協力を受けているのか。

指定管理者：飲料水などの提供や、今年度であれば「秋たっぷり DAY」において、企業に声かけをして、ブースを出していただいた。具体的には、株式会社ポーラさんにマスク診断ということで、似合う色のマスクを選んでいただいたり、企業ではないが、弥生文化博物館さんに、銅鐸の形をした石鯛づくりをしていただいたり、あとは自衛隊さんに、自衛隊の車を展示していただいたりして、協力をいただいた。

委員：今後もこういった企業に協賛してもらうことは良いことなので続けていただければ。

指定管理者：充実していきたい。

委員：評価票の最後の項目だが、経営状況や財務状況が適正かという言葉を使うと、会計上

不正か適正かという時に使う。この項目はそういったことではなく、経営状況や財務状況の好し悪しを評価する項目だと思うので、経営状況は健全か、財務状況は妥当かなどの言葉に変更した方がよい。

事務局：了解した。

委員長：他に意見がなければ、今出た意見を評価委員の指摘・提言として、まとめる形でよろしいか。

委員：異議なし

### 3 閉会